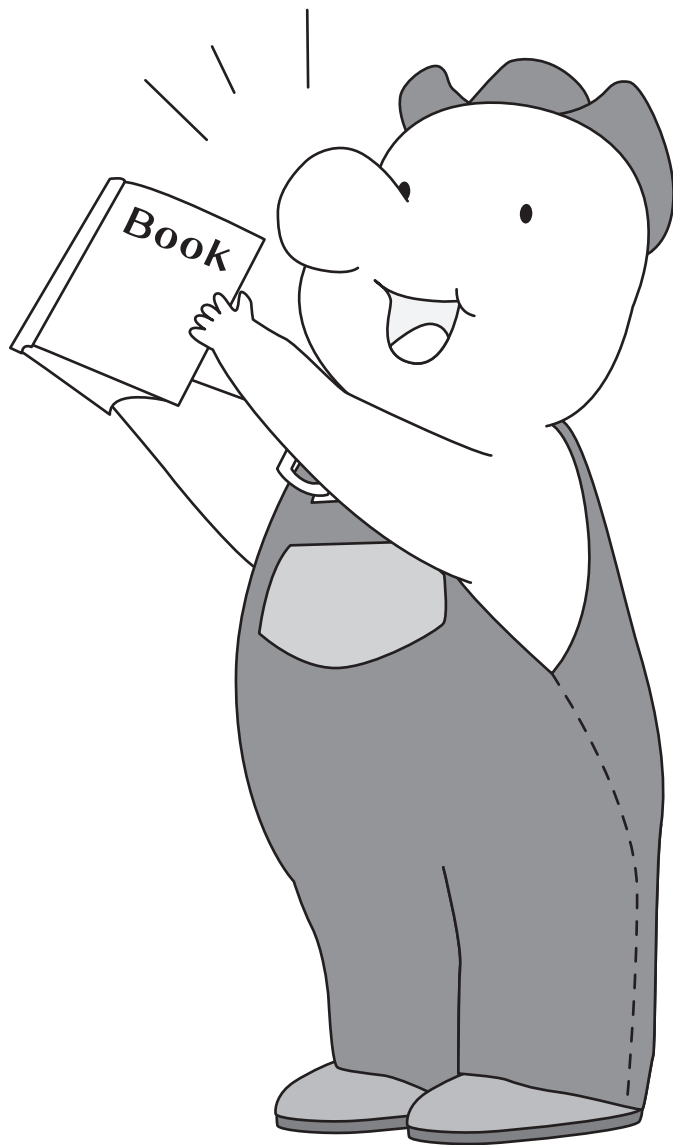


じょうずにできるかな



モマン 4-1

なまえ

たしざんをしましょう。

$$\begin{array}{c} | \\ \circ \end{array} + \begin{array}{c} | \\ \circ \end{array} = 2$$

$$\begin{array}{c} 2 \\ \circ \circ \end{array} + \begin{array}{c} | \\ \circ \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 3 \\ \circ \circ \circ \end{array} + \begin{array}{c} | \\ \circ \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 4 \\ \circ \circ \circ \circ \end{array} + \begin{array}{c} | \\ \circ \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 5 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \end{array} + \begin{array}{c} | \\ \circ \end{array} =$$

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

モマン 4-2

なまえ

たしざんをしましょう

$$\begin{array}{c} 5 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \end{array} + \begin{array}{c} | \\ \circ \end{array} = 6$$

$$\begin{array}{c} 6 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \\ \circ \end{array} + \begin{array}{c} | \\ \circ \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 7 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \\ \circ \circ \end{array} + \begin{array}{c} | \\ \circ \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 8 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \\ \circ \circ \circ \end{array} + \begin{array}{c} | \\ \circ \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 9 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \\ \circ \circ \circ \circ \end{array} + \begin{array}{c} | \\ \circ \end{array} =$$

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

モマン 4-3

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

がくもん
学問に

おう どう
王道なし



かっぱ
河童の

かわ なが
川流れ



か き
枯れ木も

やま にぎ
山の賑わい



か
勝ってかぶとの

お し
緒を締めよ



こ
かわいい子
には

たび
旅をさせよ



モマン 4-4

なまえ

せん
線でむすびましょう。

がくもん
学問に

かっぱ
河童の

か き
枯れ木も

か
勝ってかぶとの

かわいい子
には

かわなが
川流れ



おし
緒を締めよ



おうどう
王道なし



たび
旅をさせよ



やま にぎ
山の賑わい



モマン 4-5

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

がくもん^{がくもん}に
おうどう^{おうどう}なし
学問^{がくもん}に
王道^{おうどう}なし

ちかみち^{ちかみち}
近道^{ちかみち}はない



かわ^{かわ}ば^ばの
かわなが^{かわなが}
河童^{かわば}の
川流^{かわなが}れ

とき^{とき} しばい^{しばい}
時には^{とき}失敗^{しばい}



か^かき^き
かれ^か木^きも
やま^{やま}にぎ^{にぎ}
山の^{やま}賑^{にぎ}わい

ないよりあつたほうがいいね



か^か
か^かぶ^ぶとの
お^おし^し
緒^{おし}を^を締めよ

き^き
気を^きひきしめて



かわい^{かわい}い^い子^こには
たび^{たび}
旅^{たび}を^をさせよ

しゅぎょう^{しゅぎょう}
修行^{しゅぎょう}してきなさい



モマン 4-6

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

がくもん
学問に
おうどう
王道なし

じょうず ひと しっぱい
どんなに上手な人でも失敗す
ることがある。



かつば
河童の
かわなが
川流れ

つまらないものでもないより
はましである。



かき
枯れ木も
やまにぎ
山の賑わい

がくもん
学問というものには、らくみ
につけられる近道^{ちかみち}はない。



か
勝ってかぶとの
おし
緒を締めよ

よ なか くろう けいけん ほう
世の中の苦勞を経験させる方
がよい。



かわい子には
たび
旅をさせよ

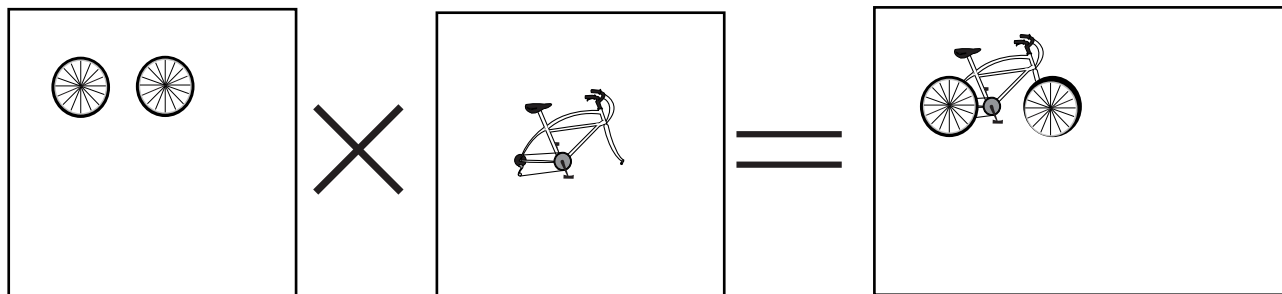
か
勝っても、さらに気を引き締
めよう。



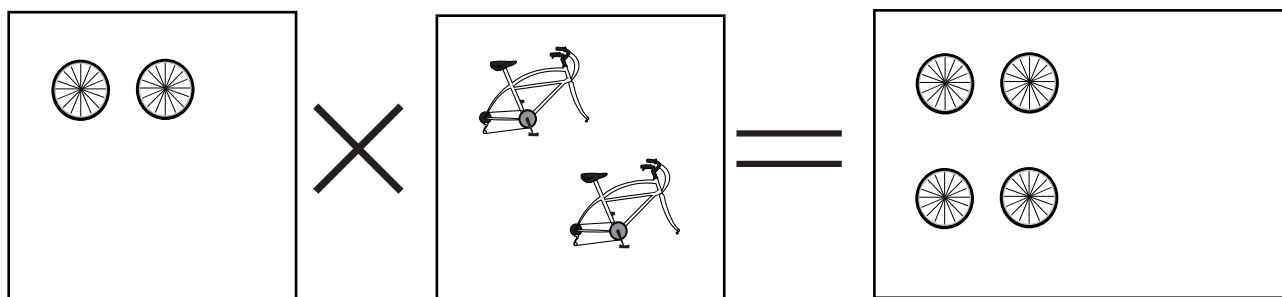
モマン 4 - 7

なまえ

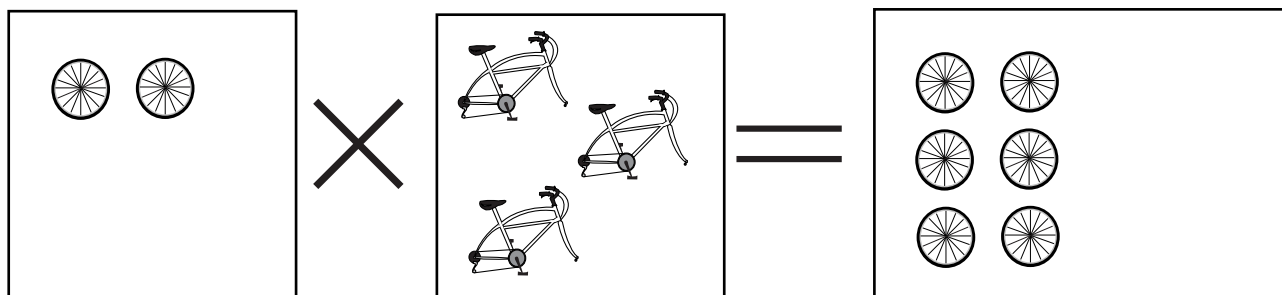
すうじをなぞりましょう。
かけざんをしましょう。



$$2 \times 1 = 2$$



$$2 \times 2 = 4$$



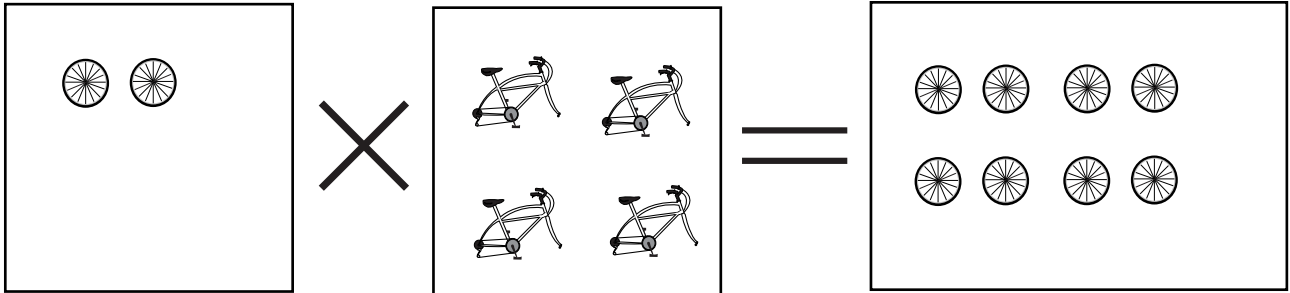
$$2 \times 3 = 6$$

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

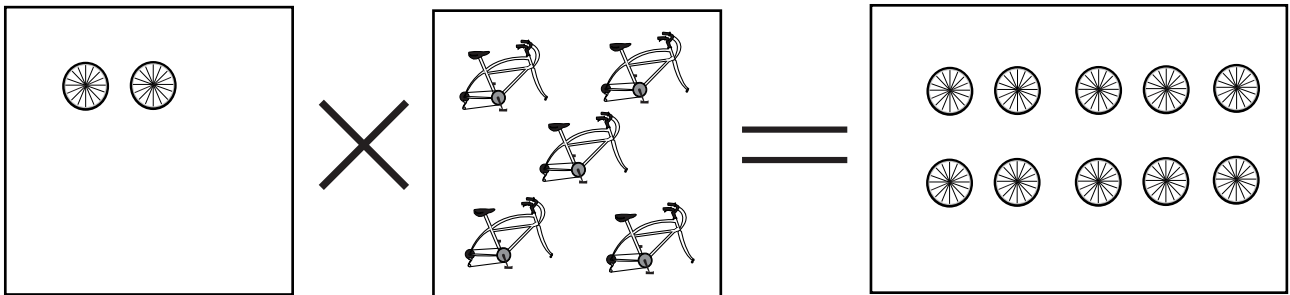
モマン 4 - 8

なまえ

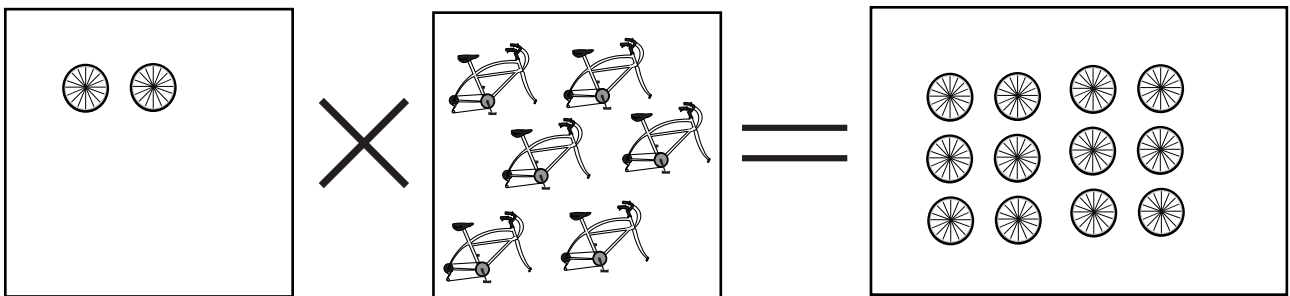
すうじをなぞりましょう。
かけざんをしましょう。



$$2 \times 4 = 8$$



$$2 \times 5 = 10$$



$$2 \times 6 = 12$$

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

モマン 4-9

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

いち だい
一 台

くる
ま



いっ ぽん
一 本

ろう
そく



いっ ぱい
一 杯

た
こ



モマン 4 - 10

なまえ

せん
線でむすびましょう。

いち だい
一 台

た
こ



いっ ぽん
一 本

く
る
ま



いっ ぱい
一 杯

ろ
う
そ
く



モマン 4-11

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

はる ^{うみ}
春の海

ひねもすのたり
のたりかな



かね
鐘ひとつ

う ^ひ
売れぬ日はなし
え ^{はる}
江戸の春



うらもん
裏門の

ひとりでにあく
^{ひなが}
日永かな



モマン 4 - 12

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

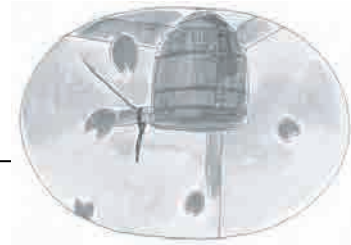
うらもん
裏門の

ひねもすのたり
のたりかな



はる
春の海

う
売れぬ日はなし
えど
江戸の春



かね
鐘ひとつ

ひとりでにあく
ひなが
日永かな



□の中の文字をなぞり、俳句をつくりましょう。

は
る
の
う
み

ひ
ね
も
す
の
た
り

の
た
り
か
な

与
謝
蕪
村

モマン 4-14

なまえ

□の中の文字をなぞり、俳句をつくりましょう。

か

ね

ひ

と

つ

う

れ

ぬ

ひ

は

な

し

え
ど

の

は
る

宝井其角
たからい き かく

モマン 4 - 15

なまえ

□の中の文字をなぞり、俳句をつくりましょう。

う
ら
も
ん
の

ひ
と
り
で
に
あ
く

ひ
な
が
か
な

こ
ば
やし
い
つ
さ
小
林
一
茶

モマン 4 - 16

なまえ

はじめからおわりまで、^{すす}進みましょう。

はじめ



は	る	の	う	み	は	き	れ	い
る	が	す	み	な	っ	た	ら	だ
の	る	ぎ	ひ	く	ね	る	ひ	よ
う	な	れ	ね	む	を	し	よ	う
み	に	ば	も	す	の	た	り	の
は	つ	な	す	っ	て	の	ん	た
ま	う	い	と	し	る	し	え	り
だ	こ	と	ば	を	か	い	ち	か
つ	め	た	い	ね	い	よ	う	な



おわり

- 1 ^{とり}鳥でも^{そら}空を^と飛べないが、^{はし}走るのが^{とくい}得意な
^{とり}鳥はなあに？

だちよう

- 2 にわのはんたいかわにいる^{どうぶつ}動物はなあに？

わに

3 ^こ子もりばかりしている^{どうぶつ}動物はななに？

こうもり

4 ^う生まれたときは^{あし}足がなく、^{つぎ}次に^{ほんあし}2本足になり、^{さいご}最後に^{ほんあし}4本足になる^{どうぶつ}動物ななに？

かえる

せん
線でむすびましょう。

い き
意 気

しょうちん
消 沈



じゅうにん
十 人

と いろ
十 色



ぼう いん
暴 飲

ぼう しょく
暴 食



モマン 4 - 20

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

いきしょうちん
意気消沈

ああ、がっかりだ



じゅうにん と いろ
十人十色

ひと
人はみんなちがうんだ



ぼういん ぼうしょく
暴飲暴食

たべすぎ、のみすぎのこと



モマン 4 - 21

なまえ

せん
線でむすびましょう。

いきしょうちん
意気消沈

どをこしてたべたり飲
んだりすること。



じゅうにんといろ
十人十色

がっかりすること。

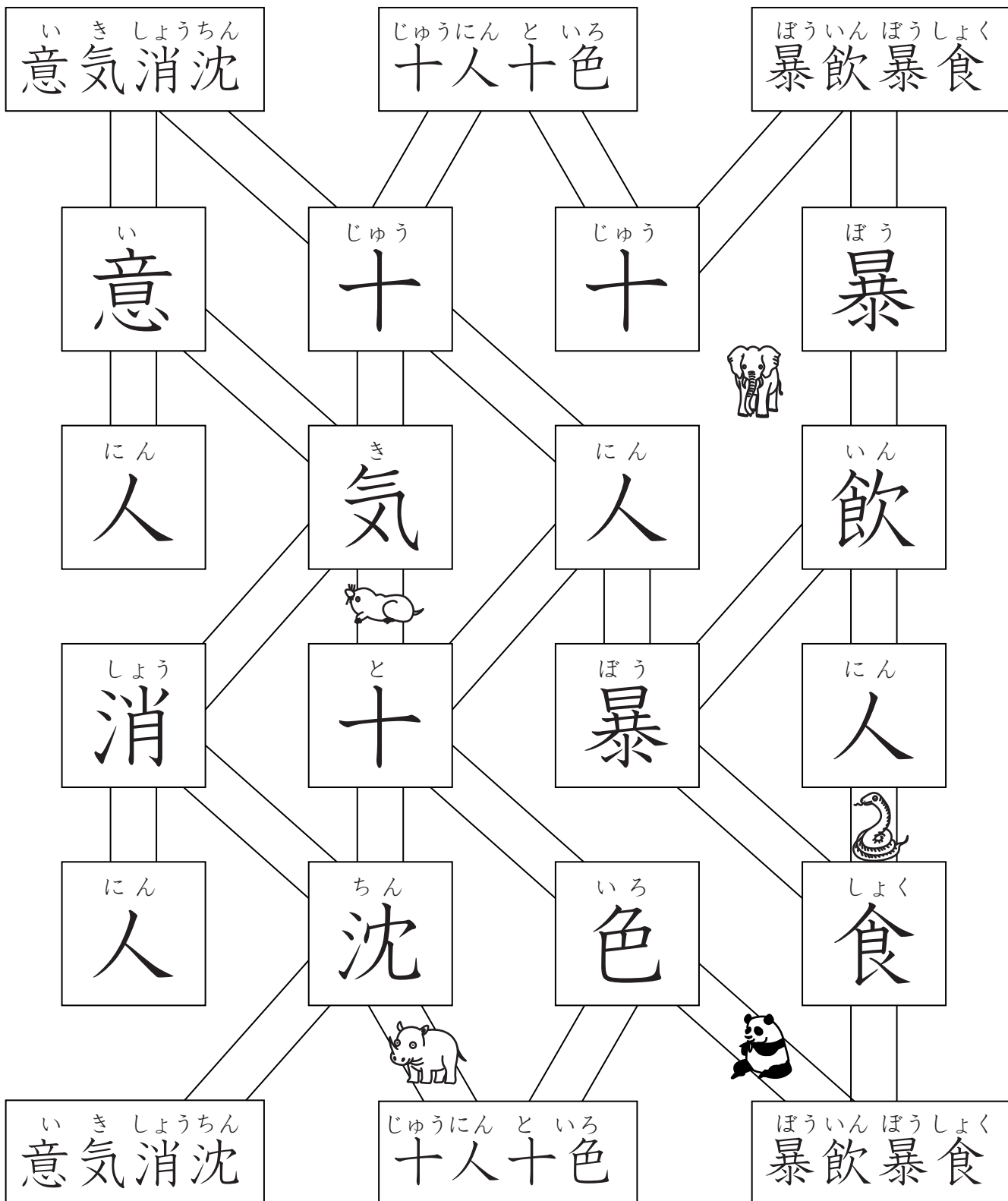


ほういん ほうしょく
暴飲暴食

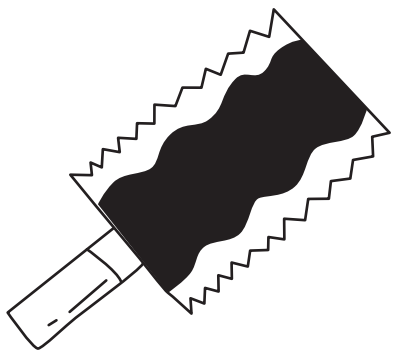
ひとそれぞれにちが
いがあること。



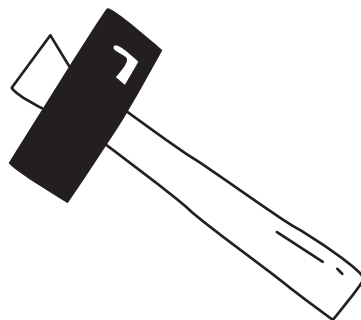
線せんでむすびましょう。



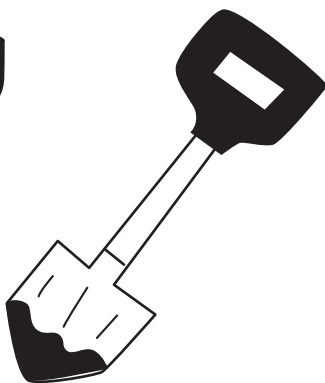
しょうじきもの
正直者のきこりは、いけ なに お
お
落としましたか。
お
落としたものに○をつけましょう。



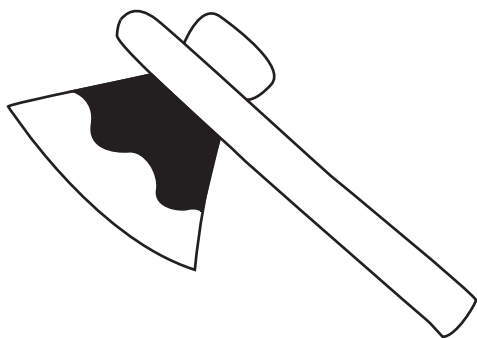
のこぎり



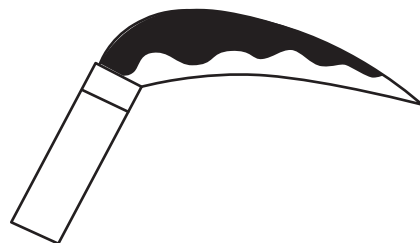
かなづち



スコップ



おの



かま

みず かみさま さいしょ も み
水の神様が、最初に持ってきたものを見て、
しょうじきもの なん い
正直者のきこりは何と言いましたか。



- 1 そうです。そのおのが私のおのです。
- 2 私のおのは、もっとりっぱなおのです。
- 3 私のおのは、こんなりっぱなものではありません。

モマン 4 - 25

なまえ

せん
線でむすびましょう。

ありま やま
有馬山
い な ささはら かぜ ふ
猪名の笹原 風吹けば

ひと
いでそよ人を
わす
忘れやはする

ありあけ
有明の
つれなく みえし わか
つれなく見えし 別れより

あかつき
あかつき
暁ばかり
う
憂きものはなし

このたびは
ぬさ え たむけやま
幣もとりあへず 手向山

もみじ にしき
紅葉の錦
かみ
神のまにまに

みかきもり
え じ ひ よる も
衛士のたく火の 夜は燃え

ひる き
昼は消えつつ
もの おもえ
物をこそ思へ

モマン 4 - 26

なまえ

せん
線でむすびましょう。

このたびは
幣ぬさもとりあへずえ手向山たむけやま

あかつき
暁あかつきばかり
憂うきものはなし

みかきもり
衛士えじのたく火ひの夜よるは燃えも

いひとでそよ人を
忘わすれやはする

ありまやま
有馬山
猪名いなの笹原ささはら風吹かぜけばふ

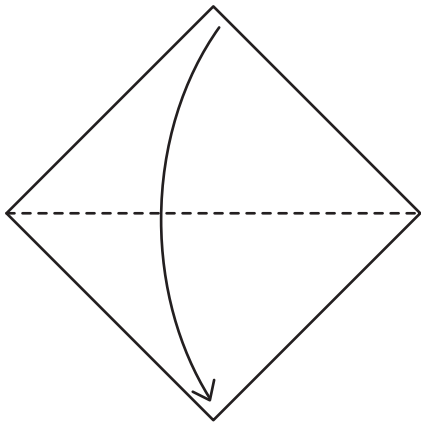
もみじ にしき
紅葉もみじの錦にしき
神かみのまにまに

ありあけ
有明ありあけの
つれなく見みえし別わかれより

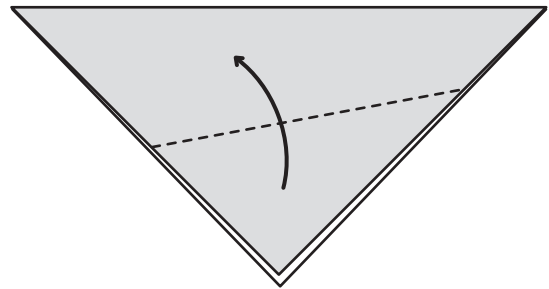
ひる き
昼ひるは消きえつつ
物ものをこそ思おもへ

《いんこ》

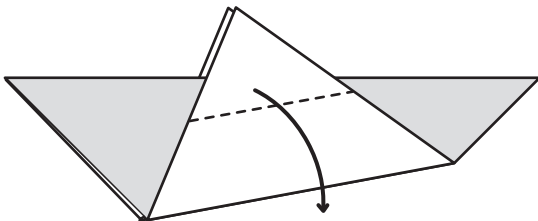
なまえ



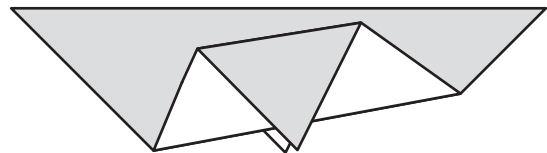
1 さんかくに おる



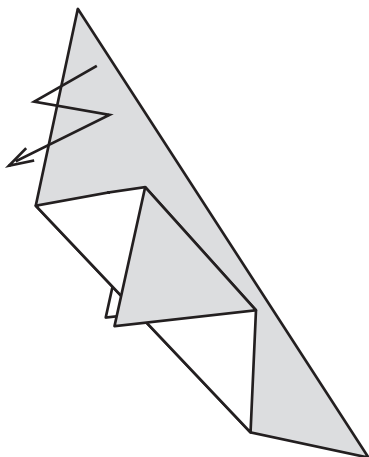
2 したのぶぶんを すこし ななめに たにおりに する。うらがわも おなじように たにおりにする



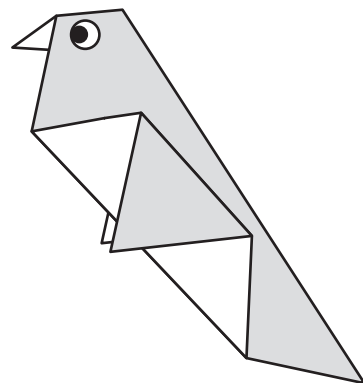
3 もういちど ななめに おりかえす。うらも おなじように おる



4 むきを たてながに ななめに する



5 やじるしの ぶぶんを なかわりおりする



めをかいて、いんこの かんせい